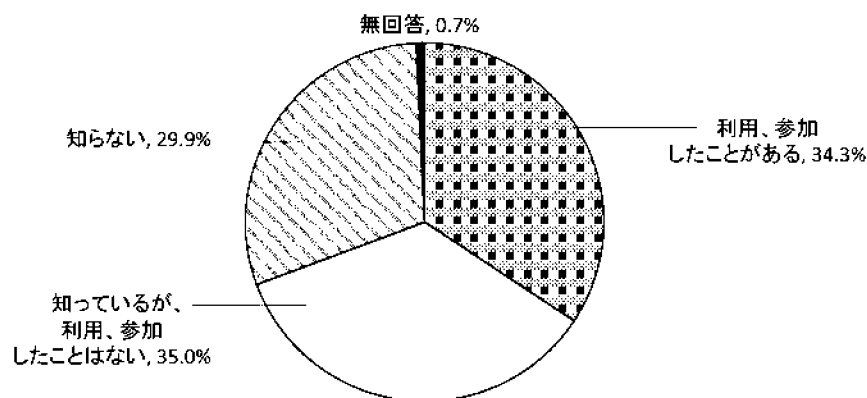


【環境教育や環境学習について】

問29 北九州市では、『世界の環境首都』を目指す取組の一つとして、学校や家庭、地域など、さまざまな機会・場での環境教育や環境学習の充実に取り組んでいます。そこで、おたずねします。

問29-1 あなたは、環境ミュージアム、エコタウンセンターなどの環境学習施設の利用や、毎年10月に行われるエコライフステージなどの環境イベントに参加したことがありますか。



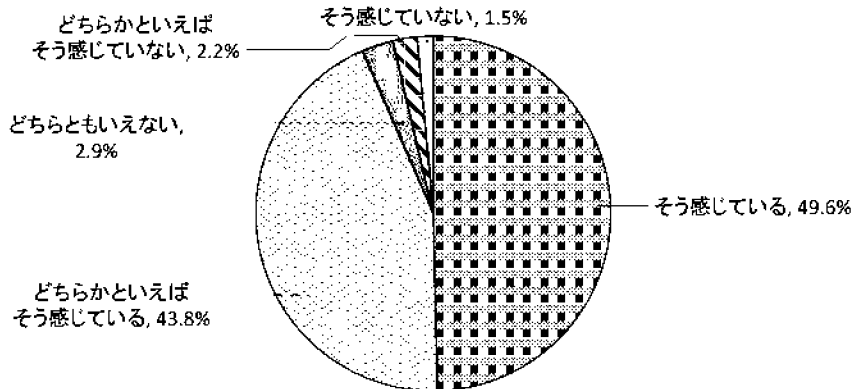
		サンプル数	利用、参加したことがある	利用、参加していないが、知っている	知らない	無回答
全体		137	34.3%	35.0%	29.9%	0.7%
性別	男性	60	36.7%	30.0%	33.3%	0.0%
	女性	77	32.5%	39.0%	27.3%	1.3%
年齢別	10歳代	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	16	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	30歳代	16	25.0%	18.8%	56.3%	0.0%
	40歳代	27	40.7%	25.9%	33.3%	0.0%
	50歳代	19	31.6%	42.1%	21.1%	5.3%
	60歳代	32	31.3%	43.8%	25.0%	0.0%
	70歳以上	25	24.0%	48.0%	28.0%	0.0%
区別	門司区	13	38.5%	30.8%	30.8%	0.0%
	小倉北区	26	38.5%	38.5%	23.1%	0.0%
	小倉南区	32	34.4%	37.5%	28.1%	0.0%
	若松区	10	10.0%	40.0%	40.0%	10.0%
	八幡東区	9	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%
	八幡西区	37	32.4%	29.7%	37.8%	0.0%
	戸畑区	10	40.0%	30.0%	30.0%	0.0%

環境学習施設の利用者や環境イベント参加者を含めて、7割弱（69.3%）の人が環境イベントを認知していたが、「利用、参加したことがある」という回答は34.3%に留まっている。

【自然環境について】

問30 北九州市は、大都市でありながら山や海など、多様な自然環境に恵まれており、市ではその適正な保全に努めるとともに市民が自然と触れ合うことができる場を整備しています。そこで、おたずねします。

問30-1 あなたは、北九州市は、身近に自然を感じたり、身近な場所で自然に触れ合うことができるまちだと感じますか。



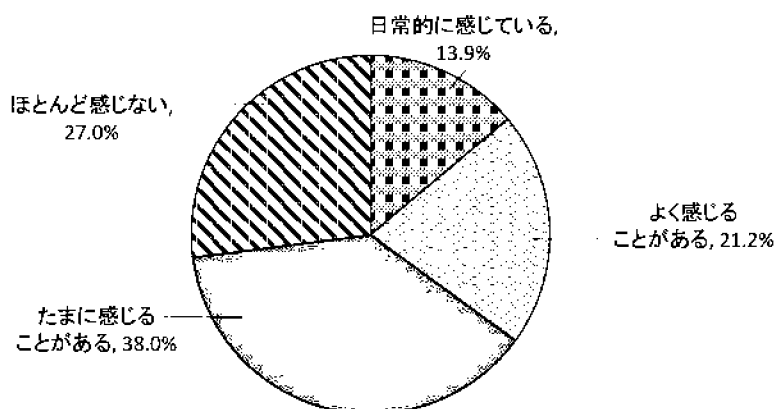
	サンプル数	そう感じている	どちらかといえ そう感じている	どちらともい えない	どちらかといえ ば	そう感じ ていない	わからない	無回答	
全体	137	49.6%	43.8%	2.9%	2.2%	1.5%	0.0%	0.0%	
性別	男性	60	53.3%	40.0%	0.0%	5.0%	1.7%	0.0%	0.0%
	女性	77	46.8%	46.8%	5.2%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%
年齢別	10歳代	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	16	31.3%	62.5%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	16	31.3%	50.0%	6.3%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%
	40歳代	27	44.4%	51.9%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	19	52.6%	36.8%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
	60歳代	32	65.6%	34.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	25	52.0%	40.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	13	53.8%	38.5%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	26	50.0%	46.2%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	32	40.6%	56.3%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%
	若松区	10	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	9	44.4%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	37	59.5%	29.7%	5.4%	2.7%	2.7%	0.0%	0.0%
	戸畑区	10	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

身近に自然を感じたり、身近な場所で自然に触れ合うことができるまちだと感じるかについては、「そう感じている」(49.6%)が最も多く、次いで「どちらかといえばそう感じている」(43.8%)となっており、9割以上(93.4%)の人が肯定的な回答であった。

【身近な生活環境の保全について】

問3 1 北九州市では、大気汚染や水質汚濁、騒音、振動などに対し、法律に基づいた取組を徹底するとともに、自動車からの排気ガスや騒音問題の改善に向けた対策を進めています。そこで、おたずねします。

問3 1-1 あなたは、日頃の生活の中で、大気汚染、騒音、悪臭などに関して、不快に感じることはありますか。



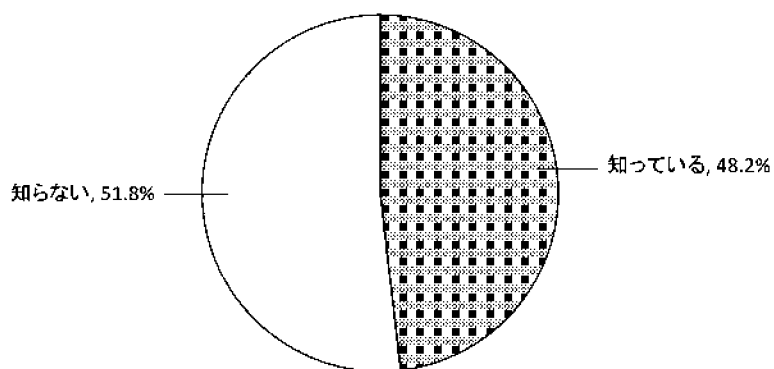
		サンプル数	日常的に感じている	よく感じる	たまに感じる	ほとんど感じない	わからない	無回答
全体		137	13.9%	21.2%	38.0%	27.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	60	18.3%	20.0%	36.7%	25.0%	0.0%	0.0%
	女性	77	10.4%	22.1%	39.0%	28.6%	0.0%	0.0%
年齢別	10歳代	2	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	16	18.8%	18.8%	43.8%	18.8%	0.0%	0.0%
	30歳代	16	31.3%	25.0%	12.5%	31.3%	0.0%	0.0%
	40歳代	27	7.4%	14.8%	51.9%	25.9%	0.0%	0.0%
	50歳代	19	10.5%	31.6%	36.8%	21.1%	0.0%	0.0%
	60歳代	32	9.4%	25.0%	37.5%	28.1%	0.0%	0.0%
	70歳以上	25	16.0%	16.0%	36.0%	32.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	13	0.0%	30.8%	30.8%	38.5%	0.0%	0.0%
	小倉北区	26	26.9%	23.1%	42.3%	7.7%	0.0%	0.0%
	小倉南区	32	12.5%	18.8%	37.5%	31.3%	0.0%	0.0%
	若松区	10	10.0%	30.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	9	0.0%	11.1%	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%
	八幡西区	37	13.5%	21.6%	35.1%	29.7%	0.0%	0.0%
	戸畑区	10	20.0%	10.0%	50.0%	20.0%	0.0%	0.0%

日頃の生活の中で、大気汚染、騒音、悪臭などに関して、不快に感じるかどうかについては、「日常的に感じている」、「よく感じる」、「たまに感じる」を合わせた否定的な回答が73.1%で「ほとんど感じない」(27.0%)を上回った。

【国家戦略特区について】

問3 2 北九州市は、平成28年1月に、国が地域を限って大胆な規制緩和などを実施する「国家戦略特区」に指定されました。これまでに、介護ロボット等を活用した「先進的介護」の実証実装や、シニア・ハローワークの設置など、「高年齢者の活躍や介護サービスの充実による人口減少・高齢化社会への対応」をすすめています。そこで、おたずねします。

問3 2-1 あなたは、北九州市が国の「国家戦略特区」に指定されたことを知っていますか。



		サンプル数	知っている	知らない	無回答
全体		137	48.2%	51.8%	0.0%
性別	男性	60	56.7%	43.3%	0.0%
	女性	77	41.6%	58.4%	0.0%
年齢別	10歳代	2	100.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	16	25.0%	75.0%	0.0%
	30歳代	16	25.0%	75.0%	0.0%
	40歳代	27	48.1%	51.9%	0.0%
	50歳代	19	36.8%	63.2%	0.0%
	60歳代	32	68.8%	31.3%	0.0%
	70歳以上	25	56.0%	44.0%	0.0%
区別	門司区	13	53.8%	46.2%	0.0%
	小倉北区	26	46.2%	53.8%	0.0%
	小倉南区	32	50.0%	50.0%	0.0%
	若松区	10	20.0%	80.0%	0.0%
	八幡東区	9	77.8%	22.2%	0.0%
	八幡西区	37	48.6%	51.4%	0.0%
	戸畑区	10	40.0%	60.0%	0.0%

北九州市が国の「国家戦略特区」に指定されたことを知っているかについては、「知っている」(48.2%)、「知らない」(51.8%)で、回答は拮抗していた。

問33 最後に北九州市のまちづくりについてご意見等ございましたらご記入ください。

(回答より抜粋)

- 今でもイメージとしては、北九州＝鉄の町と考える人が多いと思います。国家戦略特区認定、介護ロボット製作も良いのですが、北九州は自然豊かで少し足を伸ばせば、大自然の空気を感じる事が出来る市だと思います。この豊かな自然に囲まれた街として沢山の方々にアピールして頂ければと思う所です。
- 高齢者の多いまちは、消費力も弱く、弱体化している。老人に優しいのはありがたいが、応分の負担はしていただいて、若者が増える、子どもを生み育てやすいまちづくりを願いたい。企業誘致、働く場所を増やして、若い人が流入してくる様な対策を願う。
- 北九州は、暴力団が壊滅状態になり、病院も多く、公園・施設なども整備が整い、とても住み良いまちになりつつあると思う。しかし反面、地元の商店街などのシャッターは目立ち、かつての繁華街はさびれ活気が無い。どうにかしなければ、どんどん人口が減ってしまうのではないかと心配をしています。
- 北九州市は老人にとって住みやすく安全な町です。が、若者にとって魅力ある町造り（仕事、文化的なもの、レクリエーションなど）を考える必要があると思います。

## IV 全体考察

本市では、平成20年12月に、市のまちづくりの基本指針である「元気発進！北九州」プラン(北九州市基本構想・基本計画)を策定し、ここで掲げられたまちづくりの目標を実現するために、各種の施策・事業に取り組んでいるところである。

当プランによるまちづくりの成果を、子育て、教育、福祉等の分野別に、市民の「満足感」、「実感」という観点から把握するため、「元気発進！北九州」プランに記載されている内容に沿って、33項目計49問のアンケートを実施した。

なお、経年変化を確認するため、前回(平成29年度)に実施したアンケートと同内容のアンケートとしている。

### ◆全体的な傾向

肯定・否定を問う質問47問中43問(91.5%)の質問で、肯定的な回答の方が多いという結果であった。

### ◆特に肯定的な回答が多いもの(肯定的な回答の割合が7割を超えるもの)

- 「医療体制の整っているまちだと感じるか」  
(肯定的回答84.7%、否定的回答5.8%)
- 「震災や風水害などの災害が発生したときのために、事前の備えをしているか。また、避難場所や避難経路を知っているか」  
(肯定的回答84.7%、否定的回答14.6%)
- 「震災や風水害などの災害が発生した時に、テレビやラジオ、携帯メール、広報車での呼びかけなど、避難に関する情報を得る方法を知っているか。また、利用したことがあるか」  
(肯定的回答89.8%、否定的回答9.5%)
- 「水道や下水道、身近な道路などの生活に不可欠な施設を、安心して利用できると感じるか」  
(肯定的回答85.4%、否定的回答5.1%)
- 「道路、公園、建物などの公共施設が、安心して利用できるように適切に管理されていると感じるか」  
(肯定的回答71.5%、否定的回答12.4%)
- 「町内会や自治会などの地域活動に参加しているか」  
(肯定的回答74.5%、否定的回答25.5%)
- 「若者ワークプラザ北九州や北九州市高齢者就業支援センターの運営など、北九州市の人材育成や就業支援の取組を知っているか」  
(肯定的回答70.8%、否定的回答29.2%)
- 「新聞や雑誌、テレビなどで、北九州市の観光地や魅力を紹介する記事や番組などを、よく目にするか」  
(肯定的回答85.4%、否定的回答13.9%)
- 「北九州市が好きか」  
(肯定的回答92.0%、否定的回答4.4%)
- 「北九州市に住んで良かった、ずっと住み続けたいと思うか」  
(肯定的回答83.2%、否定的回答8.0%)

- 「車(自家用車、タクシーなど)での移動は便利であると感じるか」  
(肯定的回答75.2%、否定的回答9.5%)
- 「日常生活の中で、マイ箸・マイバッグを持参する、家庭ごみをこまめに分別してリサイクルに努力するなど、ごみを減らすための取組を行っているか」  
(肯定的回答85.4%、否定的回答13.1%)
- 「身近に自然を感じたり、身近な場所で自然に触れ合うことができるまちだと感じるか」  
(肯定的回答93.4%、否定的回答3.7%)

などについては、「感じる」もしくは「知っている」との回答が7割を超えており、市民の実感や認知度が高い分野となっている。

特に、「医療体制の整っているまちだと感じるか」(84.7%)、「震災や風水害などの災害が発生したときのために、事前の備えをしているか。また、避難場所や避難経路を知っているか」(84.7%)、「震災や風水害などの災害が発生した時に、テレビやラジオ、携帯メール、広報車での呼びかけなど、避難に関する情報を得る方法を知っているか。また、利用したことがあるか」(89.8%)、「水道や下水道、身近な道路などの生活に不可欠な施設を、安心して利用できると感じるか」(85.4%)、「新聞や雑誌、テレビなどで、北九州市の観光地や魅力を紹介する記事や番組などを、よく目にするか」(85.4%)、「北九州市が好きか」(92.0%)、「北九州市に住んで良かった、ずっと住み続けたいと思うか」(83.2%)、「日常生活の中で、マイ箸・マイバッグを持参する、家庭ごみをこまめに分別してリサイクルに努力するなど、ごみを減らすための取組を行っているか」(85.4%)、「身近に自然を感じたり、身近な場所で自然に触れ合うことができるまちだと感じるか」(93.4%)などについては、肯定的な回答が8割以上を占め、非常に割合が高くなっている。

◆肯定的な回答と否定的な回答が拮抗しているもの

- 「家庭や地域の教育活動への参画が進んでいると感じるか」  
(肯定的回答28.5%、否定的回答23.4%)
- 「地域活動をリードする人材やボランティア活動に取り組む人材が増加していると感じるか」  
(肯定的回答30.6%、否定的回答29.2%)
- 「あなたの声が市政に届き、きちんと対応されていると感じるか」  
(肯定的回答27.7%、否定的回答29.9%)
- 「地域の商店街を利用しているか」  
(肯定的回答51.9%、否定的回答48.2%)
- 「北九州市が国の「国家戦略特区」に指定されたことを知っているか」  
(肯定的回答48.2%、否定的回答51.8%)

◆特に否定的な回答が多いもの

- 「黒崎副都心に、にぎわいを感じるか」  
(肯定的回答5.9%、否定的回答75.2%)
- 「日頃の生活の中で、大気汚染、騒音、悪臭などに関して、不快に感じることはあるか」  
(肯定的回答27.0%、否定的回答73.1%)

今回のアンケートでは、「元気発進！北九州」プランに記載されている子育て、教育、福祉等の分野について、現時点での市民の実感を確認することができた。アンケート結果を参考に、プランに掲げるまちづくりの目標を実現し、誰もが「住んでみたい、住み続けたい」と思えるまちにするため、今後も同様の内容のアンケートを毎年実施し、その動向を確認していくとともに、プランの進捗状況把握の際の参考資料として活用し、適切な市政運営に活かしていきたい。

【市政モニターに関すること】

広報室広聴課(TEL:582-2527)

【アンケートに関すること】

企画調整局企画課(TEL:582-2158)